

今後の施設整備の執行に係る基本的な考え方（案）

2025年10月17日（金）
防衛省整備計画局施設グループ

今後の施設整備の執行に係る基本的な考え方（案）

背景

- 自衛隊施設の強靭化は、防衛力の抜本的強化に係る主要な事業に位置づけられており、事業の着実な進捗が求めており、**限られた期間において集中的に施設整備を成し遂げる必要**
- また、自衛隊及び在日米軍が平素からシームレスかつ効果的に活動するためには、地域コミュニティーとの連携が必要不可欠であり、**コミュニティーの一員である地元企業に積極的に参画いただき、地元経済へ寄与することも重要**
- 他方、民間も含めた建設投資の増加や担い手不足などの建設業を取り巻く環境に加え、発注事案の急増等による発注者側の事務負担増を踏まえ、**受発注者双方の事務負担軽減にも配慮が必要**
- 以上を踏まえ、強靭化事業のさらなる推進に向けて、これまでどおり、**地元企業の積極的な参画が可能な「分離・分割発注」を基本としつつ、受発注者双方にとって効率的な発注が可能となる「総合発注」の採用**や**様々な施工課題に対応可能な「ECI方式」**を、各事業の工事量にも配慮し、適切に運用するものとする

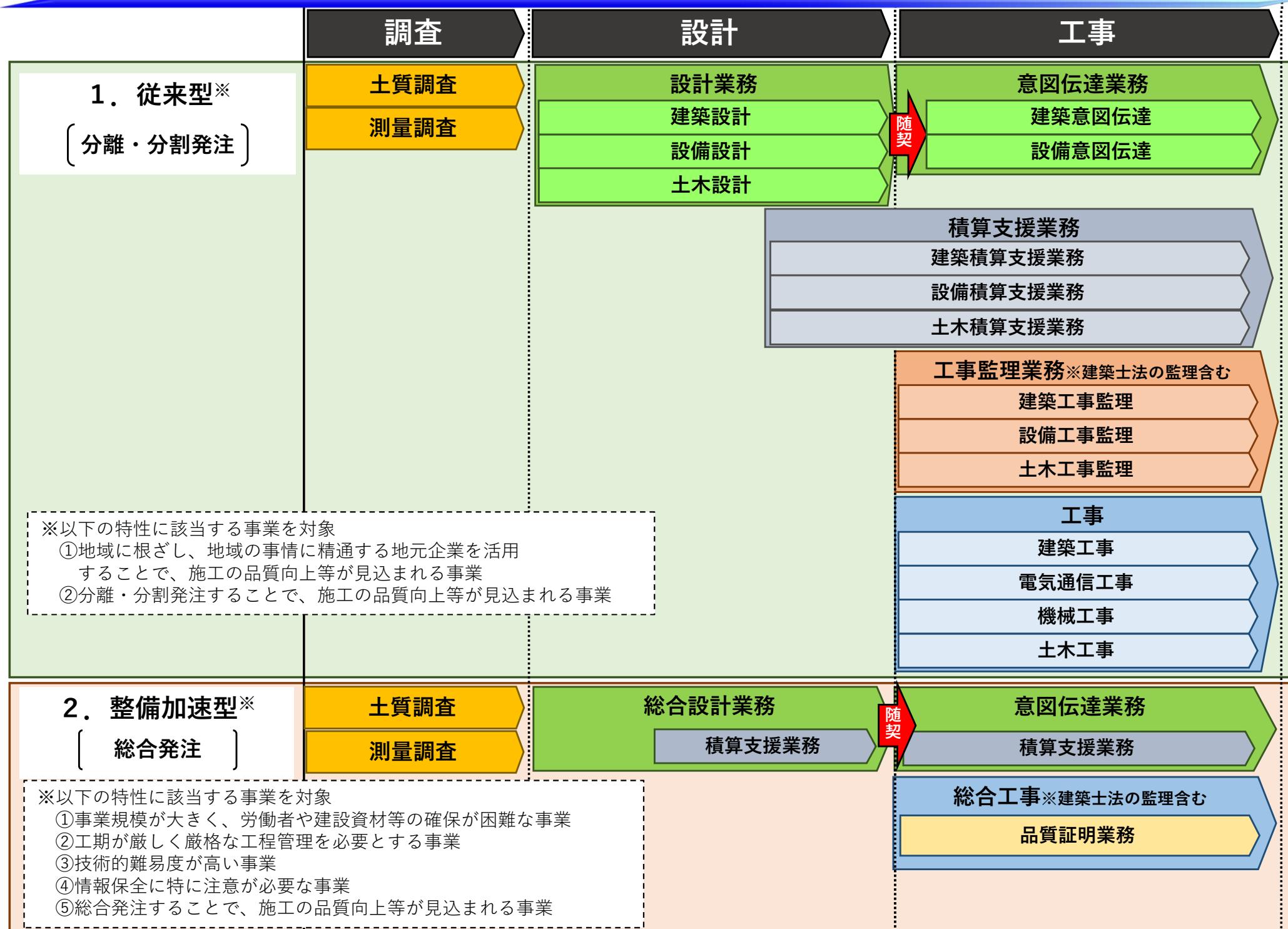
事業の特性及び地域の状況を踏まえ、**施設整備の執行に係る基本的な考え方を整理**

施設整備の執行に係る基本的な考え方（案）

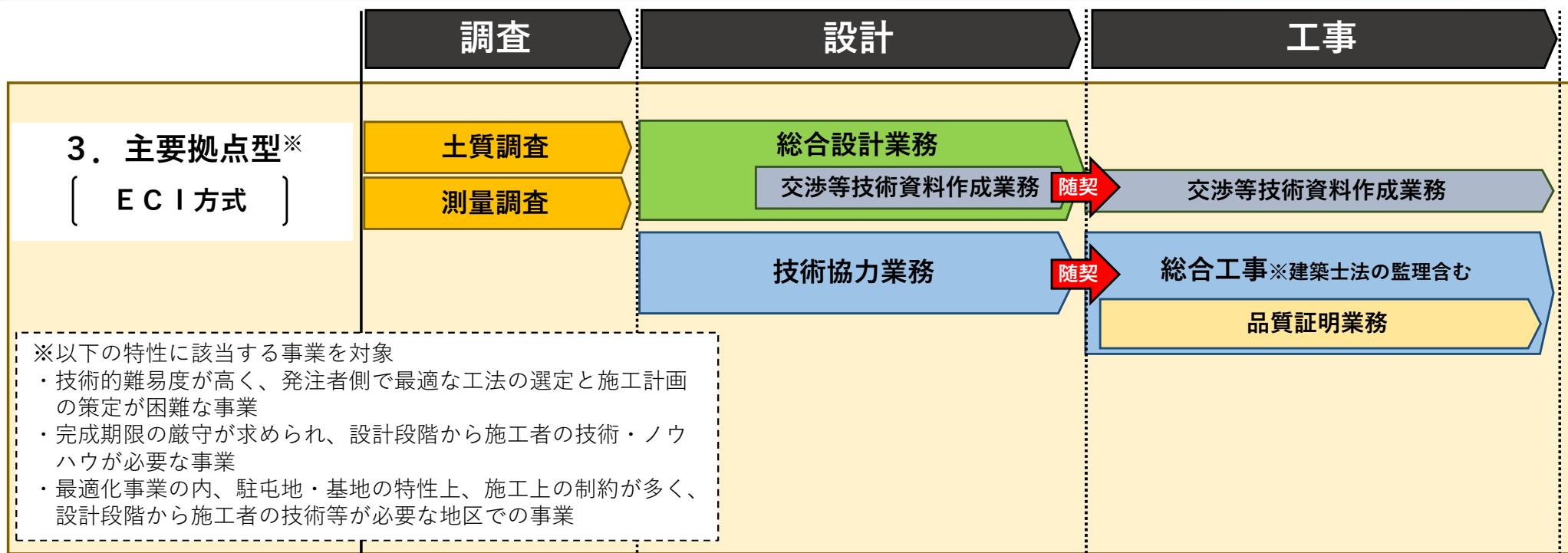
※自衛隊施設及び米軍施設の事業に適用

	発注方式	事業の特性
1	従来型 【分離・分割発注】	<ul style="list-style-type: none">・地域に根ざし、地域の事情に精通する地元企業が積極的に参画することで、施工の品質向上等が見込まれる事業・分離・分割発注にすることで、施工の品質向上等が見込まれる事業
2	整備加速型 【総合発注】	<ul style="list-style-type: none">・事業規模が大きく、労働者や建設資材等の確保が困難な事業・工期が厳しく厳格な工程管理が必要な事業・技術的難易度が高い事業・情報保全に特に注意が必要な事業・総合発注にすることで、施工の品質向上等が見込まれる事業
3	主要拠点型 【ECI方式】	<ul style="list-style-type: none">・技術的難易度が高く、発注者側で最適な工法の選定と施工計画の策定が困難な事業・完成期限の厳守が求められ、設計段階から施工者の技術・ノウハウが必要な事業・最適化事業（施工上の制約が多く、設計段階から施工者の技術等が必要な地区）

今後の施設整備の執行に係る基本的な考え方（案）



今後の施設整備の執行に係る基本的な考え方（案）



今後の施設整備の執行に係る基本的な考え方（案）

施設整備執行の概念図

